

大府市 北山小学校区

「防災を楽しく学ぶ」をモットーにした 地域・NPO協力による防災運動会

発表者：北山コミュニティ推進協議会 会長 谷口重夫

私たちのまち

- 北山小学校区は、昭和40年以降に、人が増えてきた比較的新しい町です。
- 地区の運動会や芸能祭などを通じて、しっかりと地域コミュニティを培ってきました。
- 中京女子大学が出来てから、学生が地域に下宿するなど、地域がにぎやかになりました。
- 防災倉庫は毛布と乾パンがいっぱいなく、十分に備えているとはいえません。



地域のコミュニティがしっかりしている

ネットワークづくり

- まず6月の住民説明会で、「防災運動会」の実施を決定し、地域住民と行政、社会福祉協議会、ボランティア団体、大学などからなる実行委員会を結成しました。
- その後11月の第6回実行委員会まで、一つずつ中身について話し合い、「防災運動会」そのものをまさにゼロから、地域住民が知恵を出し合い作り上げました。



実行委員会の様子

プログラムの実施

- 11月18日(土)に中京女子大学で開催した防災運動会は、天候にも恵まれ、地域から300人を超す方が参加されました。
- 朝の9時から15時30分まで、6つの競技を6地区対抗で行いました。
- また地域の人間が中心となり、炊き出しを行い、お昼には非常食・アルファ米とトン汁を振舞い、「おいしい」と好評を得ました。



開会式

競技1 安全・安心搬送リレー

- 竹ざお2本と毛布1枚で、簡易担架を作り、救護者を運ぶ競技。
- 7名(救護者1名、搬送者6名)×4組を1チームとし、30m×4区間で行った。
- 競技前に、簡易担架の作り方を指導し、「速さ」を競うのではなく、「安全性」「正確性」を競う競技であることを周知した。



Point!

運ぶ時の人の重さを体験する。

競技2 「火事だー」大声競争

- 大声で「火事だー！」などと叫び、声の大きさを競う競技。
- 5名を1チームとし、チームごとの声の大きさ(db)の合計を競った。
- 1チームの編成は高齢者、身体障害者、子ども、女性、男性の5名を基本とした。



Point!

叫ぶ言葉を変えてもよい。

競技3 防災借り物競争

- お題に沿って、災害時に本当に必要なものを借りてくる競技。
- 2名×3組を1チームとし、3組の合計得点を競った。
- お題は「避難所が暗くて困っています。何か明るくなるものを探してきてください。」などなど
あなたなら…？



Point!

競技者だけでなく、テント待機者との協力が、必要。

競技4 水パック消火競争

- あらかじめ水を入れた「水パック」を、火元に見立てた的に向けて投げる競技。
- 5名を1チームとし、チームの合計得点を競った。
- 1チームの編成は高齢者、身体障害者、子ども、女性、男性の5名を基本とした。



Point!

水パックの使用方法も事前に説明すると良い。

競技5 バケツリレー

- バケツリレーで60のポリバケツ2個を水で一杯する競技。
- バケツだけでなく、レジ袋、やかん、鍋、ペットボトルなども利用した。
- 全員参加で競技を行った。



Point!

器の戻し方を話し合う作戦タイムが重要。

競技6 防災地図づくり競技

- 地域にどんな防災設備があるのか、実際にまちを歩いて調査して、会場で図面化する競技。
- 5名を1チームとし、午前中に調査、午後から図面化を行った。
- 消火栓、消火器、防火水そう、防災倉庫などがどこにあるのかチェック！



Point!

交通事故の無いように、安全性に十分配慮する。

講評・表彰・閉会式

- 審査委員長をお願いした名工大教授・谷口先生より講評をいただきました。
- 1位にはバケツリレーで使用したバケツ、2位にはタオル、3位には軍手が贈呈されました。
- 特に活躍した8名の参加者には愛知県からキャンピングマットが贈られました。



Point!

開催意義を確認し、次の活動に生かすことが大切

成果・これから

- 今回築いたネットワークを生かし、今後地域で実際に機能する防災組織を立ち上げます。
- 防災運動会の競技メニューを小学校や地域の運動会のメニューに加えていきます。
- 他の地域でも防災運動会が開催できるように、今回の取り組みを総括します。



災害なんかには負けないぞー！！